

< ##html:content_type## >

メールマガジン 埼玉県議会



発行：埼玉県議会



No.351 2021.8.24

県議会テレビ番組「こんにちは県議会です」
8月22日(日曜日)放送「主要会派代表者に聞く1」

県議会広報テレビ番組「こんにちは県議会です」(テレビ埼玉)では、各定例会の様式や各委員会委員長のインタビューなど県議会に関するさまざまな情報を放送しています。

今号のメールマガジンでは、ご覧になれなかった方のために、8月22日(日曜日)に放送した「主要会派代表者に聞く1」の内容をお伝えします。

こんにちは
県議会です
主要会派代表者に聞く①

☆放送スケジュールなど詳しくは、[県議会のホームページをご覧ください。》](#)

INDEX



県議会広報

テレビ番組「こんにちは県議会です」
「主要会派代表者に聞く1」

- ・埼玉県議会自由民主党議員団 小島信昭団長
- ・無所属県民会議 岡 重夫代表



議事堂の花

生け花のご紹介



県議会広報

【こんにちは県議会です「主要会派代表者に聞く1」】

<埼玉県議会自由民主党議員団 小島信昭団長>

南第12区 さいたま市岩槻区選出
平成12年、埼玉県議会議員初当選(現在6期目)
平成24年、第114代埼玉県議会議長を務め、平成29年3月、埼玉県議
会自由民主党議員団団長に就任

団長 県民の皆さま、こんにちは。埼玉県議会自由民主党議員団、団長の小島信昭です。県民の皆さまには平素よりわが党に力強いご支援、ご支持を賜り厚く御礼申し上げます。

私たち自由民主党議員団は埼玉県議会最大会派として、県民の皆さまの安心・安全、埼玉の持続的発展に全力で取り組んでおります。どうぞよろしく願いいたします。



—東京オリンピックがはじまりましたね。—

団長 新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの開催ではありますが、スポーツの感動を世界で共有する機会を得ることができました。開催に当たり、ご尽力なされた皆さま、関係者の皆さまに心から敬意を表したいと思います。(このインタビューは8月3日に行われたものです。)

—新型コロナウイルス感染症への対応が長期化していますが。—

団長 そうですね。本県では3月21日に緊急事態宣言が解除されましたが、4月20日にはまん延防止等重点措置が、8月2日にはまた緊急事態宣言が適用となり、対策が緩められない厳しい状況が、長期間続いています。飲食業をはじめ多くの県内事業者が厳しい経営状況に置かれています。医療提供体制の負荷が増し、県民生活も甚大な影響を受けています。

—収束に向けてどういう取り組みが必要でしょうか。—

団長 ワクチン接種が進んでいますが、新型コロナウイルスとの戦いは続いております。引き続き、感染拡大防止に向けた県民の皆さまの協力が必要です。わが会派では、医療提供体制を強化し、感染症対策と経済活動の両立に向け、あらゆる対策を講じてまいります。



—コロナ禍で私たちの生活は大きく変わりましたね。—

団長 消費行動やテレワークなど「新しい生活様式」が普及し、私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。ポストコロナの時代を見据えたとき、この変化を後戻りさせず社会変革の契機と捉え、埼玉県が抱える課題解決に結び付けたいと考えています。

—ピンチをチャンスに変えるということでしょうか。—

団長 そういう捉え方もできると思います。本県が抱える課題は、今後、人口が減少し、少子高齢化が進展していく中で持続的な成長を導いていくことです。この解決には、超スマート社会であるSociety5.0への変革が必要だと考えています。

—Society5.0ですか。—

団長 Society5.0は、IoTやビッグデータ、AIなどの先端技術を取り入れることで、全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、今まで

に無い新たな価値を生み出すものです。このことにより、県民の暮らしをより快適に、さまざまな社会的課題を克服することが期待されております。

—未来への希望が感じられますね。—

団長 希望ある未来を実現するには、デジタルトランスフォーメーションを進め、あらゆる分野で「生産性革命」を起こしていくことが重要です。本県の場合、さしあたって、コロナ禍で浮き彫りになった行政のデジタル化の遅れを取り戻す行動を始めなければなりません。昨年、新型コロナウイルス感染症対策特別委員会での我が党の提言を受けて「デジタルトランスフォーメーション推進計画」が策定されました。この計画が機能するかわかり注視してまいります。

—他に「人づくり革命」も推進されていますね。—

団長 誰もが高い教育を受けられ、生きがいを感じられる社会に向け人材育成・確保を進めています。「GIGAスクール構想」では県内全ての小・中・高等学校でICT環境を整備し、これからの時代を生きる能力の育成を図っています。

また、コロナ禍により本県の医療人材不足が表面化しました。わが党の働きかけにより誘致が進んでいる順天堂大学医学部付属病院の開院に向けた取り組みを進めてまいります。

—他に会派として重点を置いて取り組んでいる課題は何でしょうか。—

団長 今年も国内各地で豪雨による大規模災害が発生しましたが、自然災害が全国的に頻発しており、首都直下型地震もいつ起こるとも知れない状況です。そのような状況下で県土を強靱化していくことは、まさに喫緊の課題です。昨年9月定例会でわが党が提案し可決された「防災・減災、国土強靱化対策の充実及び延長を求める意見書」により、国に予算と体制確保を強く要望したところ、国土強靱化対策の事業規模が拡大されました。今後も防災や減災につながる社会資本整備を推進し、国土強靱化を加速してまいります。



—それでは、最後に、今後の抱負をお聞かせください。—

団長 私たち自由民主党議員団は、変化の時代、不確実の時代にあって、県民の皆さまの安心・安全を何よりも優先し、埼玉県の持続的な成長を推進してまいります。皆さまの声に耳を傾け、共に考え、団員一丸となって、果敢に、力強く行動してまいります。

[▲トップへ](#)

〈無所属県民会議 岡 重夫代表〉

東第6区 白岡市・宮代町選出
平成19年、埼玉県議会議員初当選(現在4期目)
令和元年5月、無所属県民会議代表に就任

代表 皆さま、こんにちは。無所属県民会議の岡重夫です。

私たちの会派は無所属議員で構成する県議会の第2会派です。政党とは一線を画しな



がら、県内の東西南北全ての地域から選出された14名で、全県的な活動を行っております。どうぞよろしくお願いいたします。



—県民の関心が高いのは新型コロナウイルス感染症対策だと思います。無所属県民会議では、どのような対応をされてきたのでしょうか。—

代表 県民の声を受けて、各議員が議会で意見・提言を行うとともに、会派として大野知事や国に対しての要望活動も行っていました。

—議会ではどのような提言をされたのですか。—

代表 私は2月定例会で、ワクチン接種の重要性、そして副反応や体制整備などについて取り上げました。また、国によって特措法と感染症法の改正が行われましたが、これらの法改正で不十分な点があれば県独自の条例制定を行うべき、と会派独自の提案も行いました。このほか、江原久美子議員はコロナ後を見越した県庁のテレワーク推進を、また、鈴木正人議員は手洗い、消毒、マスク着用、3密回避の基本の再徹底を提言し、いずれも前向きな答弁がありました。今後も県の対応をしっかりと注視してまいります。

—どれも重要なことですね。6月定例会ではどうだったのでしょうか。—

代表 6月定例会では、岡村ゆり子議員が「発達障害のある方などは、触覚・嗅覚などの感覚過敏といった特性により、外出先でのマスク着用が困難な方がいるので、県民に向けて周知徹底を」という質問を行いました。これは、もともとは私にきた相談でしたが、岡村議員が質問に繋げてくれました。県は早速、ホームページやFacebookで周知を行い、ヘルプマークを活用する方策も示されました。

また、八子朋弘議員は、県内病床使用率ひっ迫に備えて広域的な支援協定を締結すべきと提言を行い、群馬県など北関東や甲信越地方との連携の可能性について大野知事と議論を交わしました。

—要望活動は、具体的にどのようなことをされたのですか。—

代表 長引くコロナ禍で飲食業をはじめ多くの事業者が苦しい経営を強いられています。特に、飲食店等の酒類の販売自粛によって酒類販売業者などは売上が大幅に落ち込んでいるのが実態です。そこで、わが会派は、大野知事に対して5月12日に「酒類販売業者などに対する支援要望」を行いました。その結果、国の支援に加えて県独自の支援策や補正予算が決まりました。



—県民の声を形にしてこられたのですね。今後はどのようなことに力を入れて取り組んでいこうとお考えですか。—

代表 力を入れて取り組みたい分野は4つあります。

1つ目は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と収束に向けた取り組み。2つ目は自殺防止対策。3つ目は中小企業・個人事業主への支援。そして4つ目は児童虐待防止対策です。

—1つ目の新型コロナウイルス感染症の拡大防止と収束に向けた取り組みについてお聞かせください。—

代表 先ほど紹介した事例のように、今後も会派をあげて取り組んでまいります。また、2回のワクチン接種が感染拡大と重症化防止の鍵ですので、更に加速させてまいります。

—2つ目の自殺防止対策についてはいかがでしょうか。—

代表 コロナ禍で、若者や女性の自殺者が多くなっています。「命の番人」と言われるゲートキーパー制度の充実を知事に提言したところ、知事からは、市町村長に文書で取り組みを要請するなど早急な対応をいただきました。今後も制度の拡充など、自殺者を減らすための対策に全力で取り組んでまいります。

—3つ目の中小企業、個人事業主への支援についてはいかがでしょうか。—

代表 私たちはこれまでに、新型コロナウイルス感染症の専門家会議に経済専門家の分科会を設置することや、酒類販売業者への県独自の支援を要望し、実現してきました。引き続き、中小企業・個人事業主への支援を求めてまいります。



—4つ目の児童虐待防止対策についてはいかがでしょうか。—

代表 これまで、児童福祉司や児童心理司の増員などを提案し、実現しました。また、SNSを活用した相談窓口も開設されました。6月定例会では、コロナ禍で増加する児童虐待を防止するため、一時保護所の充実を提言しました。

—最後に、今後の抱負をお聞かせください。—

代表 私たちはこれからも、県民会議の名の通り、県民の声に耳を傾けながら会派一丸となって活動してまいります。

<次回の放送予定>

8月29日(日曜日)午前10時～10時15分「主要会派代表者に聞く2」

【出演議員】

埼玉民主フォーラム 田並尚明代表
埼玉県議会公明党議員団 西山淳次団長

9月5日(日曜日)午前10時～10時15分「主要会派代表者に聞く3」

【出演議員】

日本共産党埼玉県議会議員団 柳下礼子団長

[▲トップへ](#)

議事堂の花

このコーナーでは、議事堂ホールに飾られた生け花をご紹介します。

【協力 埼玉県いけばな連合会】

- ◆展示期間
7月19日～7月21日
- ◆作者



古流松應会 吉村理千恵様
◆花材
朝鮮槇、カラー

◇◆生け花の作者の方にお聞きしました！◆◇



〈古流松應会 吉村理千恵様〉

Q:とても大きく存在感のある生け花ですね。

A:朝鮮槇という花材です。お盆時期に槇を生けることが多く、今の時期が一番すてきな色をしています。

Q:眺めていると涼しげな印象を受けますね。

A:すのこを敷き、その上に花を生けることで水辺のような涼しげな印象を与えてくれます。

☆現在展示中の作品や過去の展示作品は、県議会ホームページでご覧になれます。》

[▲トップへ](#)

【注意】

●メールマガジンにおいて氏名の一部にJIS規格第1・第2水準にない文字がある場合、第1・第2水準の漢字で表記しています。

【お問い合わせ】

●[「メールマガジン埼玉県議会」の登録・解除はこちらから》](#)

※登録事項(メールアドレスなど)を変更する場合には、お手数ですが、変更前のメールアドレスを一度解除してから新規に登録してください。

●「メールマガジン埼玉県議会」についてのお問い合わせ・感想はこちら
まで！

E-mail a6250-03@pref.saitama.lg.jp

埼玉県議会議務局政策調査課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 電話 048-830-6257/FAX 048-830-4923

© 2008 Saitama Prefecture All Rights Reserved. 無断転載を禁じます。

